

まちプロ会議
第15回

2025.10.24
浦郡市役所 北棟集会室

… 今回の内容 …

- 竹島ふ頭整備計画のQ&A
 - ・計画について再度説明しました
 - ・質問について議論・回答しました
- 各チームの活動報告
 - ・GAMAHALLOWEEN
 - ・がまきたいっか
 - ・うみまちマルシェ
 - ・みなとみらいの朝市
- 社会まちプロ会議の体制・コンセプトづくり
 - ・説明と、テーブルワークでコンセプトづくりを行いました

01 みなとまちvillageの振り返り

● みなとまちvillage Final Festa



6月3日～8月31日まで実施した社会実験「みなとまちvillage」の振り返りをおこないました！まちプロジェクト会議の実行委員会メンバーとともに企画、準備、運営した3ヶ月間、そしてそれを締めくくるFinal Festa大変おつかれさまでした！



02 ふ頭の先行整備について

● いつもづかい、特別の日づかい、思い思いの時間を過ごせるみなと空間

高さ関係、使い方の想定

ステージとして、ベンチとして

花火鑑賞、憩いのひととき

車両が入れる場所

● 当日の議論・活動の様子



大判図面を囲み竹島ふ頭広場空間の説明をする浦郡東港パートナーズ忽那代表

竹島ふ頭広場の緑地（シマ）の大きさをロープの輪を持ちあげ確認の様子

図面では小さく見えるシマをロープを用いて1:1スケールでつくっている様子

03 みなさんからたくさんのご意見をいただきました

- ・参加者のみなさんと大判印刷した竹島ふ頭平面図（縮尺1/200）を囲み議論しました
- ・テントやキッチンカーに見立てた切り紙を実際に並べながら広場の使い方について話し合いました
- ・広場に点在する緑地（シマ）の大きさをロープで作った輪を広げることで体感しました（左下写真）

【改善点コメント】参加者の皆さんから寄せられた改善点に関するコメント			
施設関連	■シマ形状について (仕様) 築山（シマの緑地を指して） (仕様) ドッグラン (仕様) 砂場（犬猫の糞尿に注意） (高さ) 立ち上がりのないシマが必要 (高さ) フラットな芝生も欲しい (高さ) フラットな部分も欲しい (高さ) 上がろうと思えないからフラットも欲しい (高さ) ベンチにすると階段の1歩が出ないから平地の芝が欲しい ■イベントテント設置について 常設フックを使うことになるとテント配列の自由度がないのでは (ペグが打てるので) 本芝がよい（人工芝NG） ベンチの下にペグを引っ掛けて使用できるものがほしい (芝にペグを刺すより) ベンチに固定する方が使いやすい 風が強い。重りだと風でテントの位置が動いていく。ペグ2本?では足りないのでは？ ペグを島で2点固定。残り2点が重りだと不安定かもしれない (シマ外周にテント設置、島側は芝地・ベンチはペグやくくりつけできる) スターテント設置を想定した固定の工夫があってもいいのでは ■日除・風除けについて (工作物・ファニチャ) 小さい島1つくらいにテントみたいな閉じたり開いたりできるものを立てていいのでは (工作物・ファニチャ) 日除がない (工作物・ファニチャ) パラソルみたいなものも設置してもいいのでは (工作物・ファニチャ) 風を防ぐのは眺望が悪くなるので眺望を優先		
	交通関連	■歩車分離（安全面）について 竹島ふ頭広場を車が通りみなとオアシス側に行くのは危ない ■駐車場について 駐車台数が40台しかないなら自分だったらイベント出店しない 駐車場が必要 ■駐輪場について 駐輪場が必要（車に依存しないため、カーボンニュートラルを目指すため）	
		設備関連	■給排水について イベント用の給排水
		【その他説明したこと】	
	■利用について (シマの縁を指して) すべてベンチではなく割合はこれから見せていく 使い方はイベントだけでなくピクニックも考えている日常と非日常を考えている 平日の昼はピクニックみたいに使うことが想定。休日はイベント テントを持ち込んで設置する際にペグが打てるようにする 重りが無い場所はペグをもってくる 場の見立てによって色々な使い方ができる テントの置き場のスタイルの種類、設置の仕方でも増やしたい 今後はこの維持管理と運営と考えていきたい 予算もあるが、省管理芝などもある 移動する椅子などを置くことも想定している シマごとではなく、自由にイベント利用範囲を設定できるようにしたい (砂場設置希望に対して) ここでは管理が難しくなるため提案できなかった 緊急車両や大型スクールバスのようなキッチンカーも入れるように設定している イベントに特化した汚水排水設備設置は難しい 岸壁は港湾利用の範囲なので計画はできない ■交通について 島が立ち上がっていることにより道を細くしたり島にポラードを置いたりして車の規制と景観をスタディ中 入っていかないデザインにする。しかし景観と両立させるためラインは引かない 島が立ち上がっているのは車がどこでも入ってくるのを防ぐための理由もある フェリー就航は未定である 全体計画図（ベイパーク含む）はおおよそ15年後を想定、現段階ではあくまでイメージ 集客数を想定し駐車場設置を検討している、しかし将来整備内容によることである ■デザインについて 舗装材料はまだ決まっていない ■自転車利用について 1箇所大型駐輪場ではなく駐輪ラックが点在し立ち寄りたところに行きやすいよう工夫する 様々なモビリティによる移動を想定している ■全体計画について ハーバーステップ方面はまだ決まっていない。このビジョンにできたらいいなと思っている。		

1/200縮尺の竹島ふ頭平面図に2.5x2.5テントが並んでいる様子を「こう見るとテントが小さく見える」という感想もあり、広場空間の大きさを実感していただけたと思います。北棟集会室の大きさとステージ寸法を比較することでステージの広さを確認しました。また、広場空間の歩車分離の考え方に対しても、良いね！をいただきました。いただいたご意見を活かし、広場空間デザインの詳細を確認していきます！

04 まちプロジェクト会議のコンセプトづくり (意見一覧)

まちプロ会議にご参加頂いた皆さんよりご意見を頂きました

コンセプトづくりとは

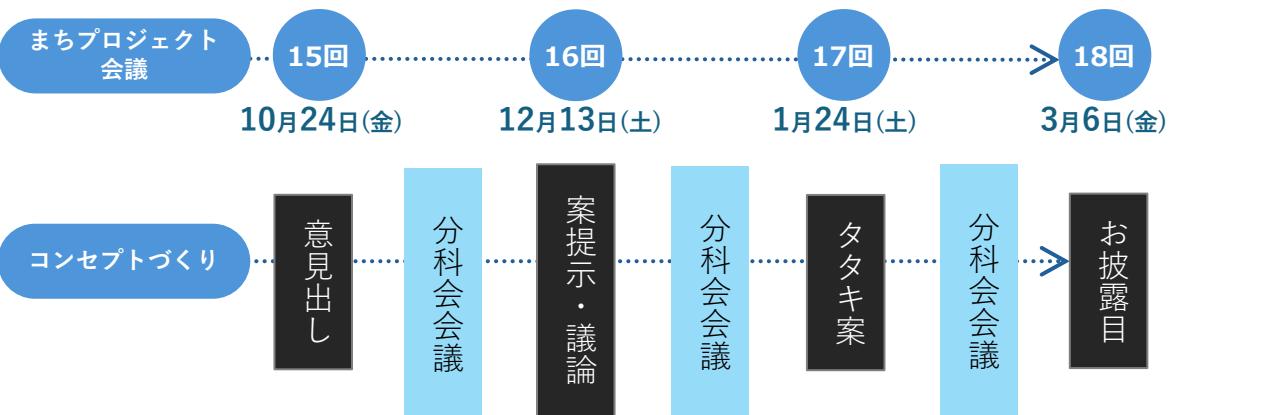
まちプロジェクト会議を自立した活動につなげるための基礎づくりをはじめました！『コンセプトづくり』とは、活動の想いや指針・大切にすることを言葉にして、チームの“軸”をつくることです。今後「コンセプトブック」としてまとめていきたいと思います。

<p>まちプロジェクト会議</p> <p>合意形成の場</p> <p>将来の東港地区で 自分たちの活動をしていくことを目指し 意思決定・調整をする場</p> <p>市道降格に向けて蒲郡市も動いています！ 市民みなさんと責任を持って動いてもらうことになる</p>	<p>R7年度の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体制づくり 2. 活動方針、コンセプトづくり 3. 活動のルールづくり 	<p>コンセプトとは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●『まちプロジェクト』とは、を説明するもの ●自分たちの活動の指針・大切にすること ●メンバーで共有する想い <p>★主語は基本的に「わたし」「わたしたち」 ★今後、新しい仲間をむかえるために ★コンセプトブックを読んでから加わってもらう</p>	<p>自走していくことを目標に</p>
---	--	--	---------------------

コンセプトブックイメージ



コンセプトブック作成スケジュール



2025年度まちプロ会議スケジュール

※スケジュールは、変更となる場合があります



今回出てきたキーワード

<p>チャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> • はじめよう、やってみよう 誰も最初は初心者なんだから • 何でもチャレンジ • いつも新しいチャレンジ • とりあえずやってみる • まず行動 • 新しい自分を見つけよう • 新しい価値観・考え方・アイデアが生まれる、活かせる、チャレンジできる <p>楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 楽しむ！人も、自分も • 自分へのごほうび • 市内外の人たちに楽しんでもらう • 蒲郡を大切に思っている自分たちも楽しむ • 観光で来た人に蒲郡をいっぱい楽しんでもらう • いつでも楽しめる <p>目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none"> • 蒲郡らしさを生み出す場 • 市民ファースト • 住みたいまちNo1を目指す • 会話をしやすい環境づくり • 市民・行政・企業 連携してのまちづくり • みらいの人につなぐ ウェルビーイング <p>想い</p> <ul style="list-style-type: none"> • 感動と喜びを創造します！ • 仲間 • 想いは同じ、アイデアは無限大∞ 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> • 環境を大切にする • 持続可能 • 今の自然を守る (ごみを出さない、プラスチックを少なくする) • 草とり、ごみ拾い <p>地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域を盛り上げる • 地域のつながり • 蒲郡市の活性化 <p>伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> • 蒲郡の人やお店・資源の素敵さを伝える • わが町の魅力を伝える • 広報 • 告知方法の統一？ <p>ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> • どの企業でも統一して使えるルールにした • 共通ルールづくりたい (保険のことなど) • 安全 • 決められたルールを守る <p>やりたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 楽市楽座のような場所をつくる • 公共交通機関 • 公共交通機関歩行者天国 • 自家発電 (ライトアップに使う電力は自分で作る) • 蒲郡を体験する
---	--

これまでに出てきたキーワード

<p>年齢性別国籍問わず 誰がかかわれる ・チャンスがある</p>	<p>ひとりひとりが 主体になる</p>	<p>コアなまちの情報を集約・発信</p>	<p>その他、首つっこむチームで整理した大切なキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自分たちがチャレンジする ◆チャレンジしたい人の挑戦の窓口になる、マッチングする ◆蒲郡の資源、資産を活かす ◆住み続けたいまち、蒲郡の魅力アピール ◆よくいきる、くらしを自分たちの手でつくる ◆みんなの声でまちを作る ◆まずこのメンバー (個) が輝く！ ◆相互作用、化学反応を生む、一緒に作っていく ◆つなぐ ◆蒲郡の未来をいきいきとさせる ◆熱い思いをもった同志のあつまり ◆自分たちの手のできることから ◆中間支援機能：市民と行政と企業間の役割 ◆人生をかえるがまごおり ◆かえってこれる場所 ◆住民と観光客が交流 ◆子供が住み続けなくなるまちをつくる ◆歩道空間を有効に活用
誰でも挑戦できる	人々の居場所 自分たちの居場所	蒲郡のコアな魅力発信 ・東港に人があつまるように ・人があふれる	
まずトライする ・やってみる	人と人をつなぐ・交流 ・蒲郡のひとをまきこむ	得意な人を発掘	
まちの賑わいをつくる	サポートする・しあう ・活動支援 ・応援	まち・地域と企業をつなぐ	
自分たちが楽しむ	持続性のあるとりくみ	調べる・勉強する 共有する	
		安心安全	

▶ 今後の活動やルール作りに反映